

83年政治決戦 中江氏選挙必勝へ期待高まる



三里塚-国鉄決戦に勝利し、83年政治決戦に支部一丸となって闘いぬこう——白井支部長を先頭に、幕張支部の仲間ももえている。

日刊 動労千葉

82.11.9 No. 1190

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五ノ六・(公衆電話)三二七二〇七

幕張支部で職場集会開かれる

支部通信 員・発

幕張支部は11月8日、83年船橋市議選を闘う中江昌夫氏を招いて職場集会をひらいた。集会には90名の組合員が詰めかけ、中江氏の講演に真剣に聴き入り、83年選挙必勝の決意を固めた。又、集會に先だつて中江氏の周りに国労組合員も含め多くの昔からの仲間が集り激励が寄せられるなど、関心と期待の大きさをさまざまな感じさせた。そのことは、職場集會に「千葉車両整備会社労組」の長塚委員長が駆けつけ激励してくれた事にも表わされている。長塚氏は挨拶の中で、動労千葉への連帯と期待を述べ「中江氏選挙には全力で協力する」ことが決意表明され、全員が熱い拍手で共に闘いぬくことを誓いあつた。

自民党・賊界による反動の流れを断とう!

中江氏は30分間の限られた講演で簡潔明瞭に選挙戦に臨む決意と抱負を述べた。それは「オニ」は、今日の自民党政府は多くの国民の平和の望みとは逆に軍事大国化へ改憲への道を強引に進んでいる。反戦・反核・反改憲・三里塚等の闘いに示されるように怒りと切実な声は日ましに高まっている。この闘いの先頭に立ち、広範な住民の運動を地域に創り出し育てていくこと、

中江氏の同期・先輩多数が激励

講演のあと、入社当時から共に闘ってきた山岸さん(初代支部長)をはじめ諸先輩、同期から激励、挨拶がなされた。動労(機労)結成当時の苦労話し等話されたあと、中江氏につりて「22才にして中央本部に上り、一貫して主義主張を崩さず動労の骨格を築き上げ、『カミソリ中江』と当局に恐れられた。79年の『本部』草マルによる不当な千葉攻撃には敢然と対決し動労千葉の正義を支え決起した中江氏の生きざまが熱い情熱と、今の時代が求めるものである。我々の力で中江氏を絶対当選させよう」と強調され、参加者全員大いに感激し、「よし、ヤッテヤルぜ」と気合いが入った。幕張支部は真藤副委員長を支部選対委員長にすえ、役員・活動家組合員一丸となつて必勝めざし奮闘することを誓い合い、総行動に入っている。

オニに、国鉄労働運動破壊の敵は、日本労働運動を最終的に粉碎し、右翼再編・御用化していかうという攻撃であり断じて屈してはならない。動労革マルと鉄労がいかにも裏切り、全面屈服の道へ転落しようとも、その敵対に抗して全国の国鉄労働者は動労、国労を向わず職場から反撃に立ちつつある。国鉄労働者の戦闘的魂を誇りとして、労働運動の原則と正義を堅持し抗げるために奮闘する、

オニに、今日の生活破壊、国民大衆への一切の犠牲のしゆよせはすさまじい。戦争、生活破壊、権利剝奪、住民自治破壊、国家統制強化、金権腐敗政治の横行……これらを、変革を求める広範な声と力を総結集し、労働運動と地域運動をしっかりと結合する中で、80年代の勝利をきりひらいていく、この鮮明な決意と抱負が述べられた。



機労結成当時の仲間としっかりと握手。(左から、山岸、中江、石井の各氏)

全組合員の方で中江選挙勝利を、一人5票獲得 運動を貫徹しよう

組織破壊攻撃を粉碎せよ! 強固な団結で全組合員・家族の